

令和5年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	家庭	科目名	家庭基礎	単位数	2	履修学年・クラス	1AB
担当者		使用教材	図説 家庭基礎(実教出版)				
学習目標	<p>○家庭や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活のありかた、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立のための衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につける。</p> <p>○生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。</p>						
学習方法	<p>○家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解し、自分らしく生きることや人との関わりについて考える。</p> <p>○生活の充実向上をめざし、生活課題を主体的に解決するために、衣食住に必要な知識と技術を演習や実習を通して習得する。</p>						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。				
	思	思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。				
	態	主体的に取り組む態度	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法		
			知	思	態				
前期中間	第1章 自分らしい生き方と家族	・これからの人生をデザインする ・生活を支える労働 ・男女共同参画社会を目指して ・現代の家族 ・家族に関する法律の理念と変化 ・家族にかかわる法律	○	○	○	<p>[知] 家族・家庭の役割や、家族に関する法律・家庭経済について理解している。</p> <p>[思] 自分自身の生活を見つめ、自立へ向けて課題を発見し、将来について考えている。</p> <p>[態] 自分らしい生き方や社会の一員として生きることについて関心を持ち、主体的に学習に臨んでいる。</p>	<p>・授業態度 ・学習ノート ・学習プリント ・考査</p>		
	第3章 高齢者とかかわる	・高齢社会に生きる ・高齢者を知る	○	○	○				
	第4章 社会とかかわる	・共に生きるために ・社会の一員としての私たちの役割	○	○	○				
	第8章 経済的に自立する	・日々の収入・支出を把握する ・長期的な経済計画を立てる	○	○	○				
	第5章 食生活をつくる	・私たちの食生活と健康 ・5大栄養素 炭水化物、脂質、たんぱく質、ミネラル、ビタミン ・食品の選択と表示 ・食品の衛生 ・食料自給率と食のグローバル化 ・食事摂取基準 ・食品群別摂取量のめやす ・献立作成 ・基本の調理①	○	○	○			<p>[知] 現代の食生活の問題点、各栄養素の種類とその働きについて理解している。食品選択のポイントを理解している。何をどのくらい食べるかを理解し、バランスのよい食事計画につなげることができる。</p> <p>[思] 食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって、知識を深めようとしている。食生活の問題点をまとめている。</p> <p>[態] 食品と栄養、調理との関係に関心を持ち、主体的に行動しようとしている。</p>	<p>・授業態度 ・学習ノート ・学習プリント ・課題提出 ・考査</p>
第6章 衣生活をつくる	・衣服素材の種類と特徴 ・衣生活の計画と購入 ・衣服の管理 ・家庭での洗濯・保管	○	○	○					
第7章 住生活をつくる	・ライフステージと住まいの計画 ・健康に配慮した住まい ・安全な住まい ・持続可能な住まい	○	○	○					
第9章 消費行動を考える	・契約と主体的な消費行動 ・多様化する販売方法と問題商法 ・多様化する支払い方法 ・持続可能な社会をめざす取り組み	○	○	○	<p>[知] 計画的な衣生活および住生活を営む知識と技術を身につけている。家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につけている。</p> <p>[思] 衣生活および住生活の問題点を把握し、自分の行動を見直して適切な判断ができる。ライフステージに応じた住まいについて思考・判断することができる。環境に配慮した消費行動をとることができる。SDGsについて、身近な例をもとに思考・判断できる。</p> <p>[態] 衣生活や住生活、消費生活における課題の解決に主体的に取り組む、実践しようとしている。</p>	<p>・授業態度 ・学習ノート ・学習プリント ・考査</p>			
第2章 子どもとかかわる	・子どもの誕生 ・からだの発達 ・運動機能の発達と知的発達 ・かかわりのなかの発達 ・子どもの生活習慣と健康 ・子どもの食生活・衣生活 ・子どもと遊び ・親になることを考えよう ・子どもを守る法律・制度	○	○	○					
○実習		・調理実習 ・被服製作実習	○	○			○	<p>[知] 子どもの発達と保育、子どもの権利と福祉について必要な知識と技能を身につけている。適切に実習を進める知識と技能を身につけている。</p> <p>[思] 子育ての環境や国の支援策および課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。実習において、作業の流れを考えて、効率を判断しながら取り組むことができる。</p> <p>[態] 子どもの発達に対し、どのような環境や関わりがよいのかを考えようとしている。実習に積極的に参加しようとしている。</p>	<p>・授業態度 ・実習作品 ・学習ノート ・学習プリント ・考査</p>
			○	○			○		
			○	○			○		